

令和元年度 「修学旅行」

生徒目標

千止万幸 ～Peace of memories～

〈全体目標の達成に向けて〉

- ・笑顔をたやさず友情を深めよう。
- ・メリハリをつけて楽しもう。
- ・時間厳守を心がけよう。
- ・感謝の気持ちを忘れずにマナーを守って行動しよう。
- ・感受性豊かに沖縄の文化や歴史にふれよう。

日時

令和元（2019）年6月1日（土）～3日（月）

場所

沖縄県 那覇市、本部町、伊江村

宿泊 1日目 センチュリオンホテル沖縄美ら海

2日目 伊江村 民泊

活動プログラム

初日 6月1日（土）

ひめゆり平和祈念資料館→平和祈念公園→ガマ→レクリエーション

保護者の皆様、先生方の盛大なお見送りの中、早朝6時20分に三田を出発、伊丹空港を飛び立ち、沖縄・那覇空港に到着しました。着陸では歓声と拍手。梅雨の真っ最中の沖縄、蒸し暑さを感じました。

バスガイドさんの案内でひめゆり平和祈念資料館へ。2年生の時に授業で学んだことが思い出され、それぞれの展示で足が止まります。用意された時間では十分に

見学しきれませんでした。

昼食は平和祈念公園で。お弁当を美味しく頂きました。そして、いよいよ平和セレモニー。厳粛で穏やかな空気が摩文仁の丘を包みました。平和学習の最後はガマ。ガマは余りにも暗く寂しすぎました。世界がいつもいつまでも平和でありますように。

ホテルに到着。郷土色も豊かな夕食をお腹いっぱい頂きました。夜は、お待ちかねのレクリエーション大会。漫才、クイズ、カラオケなど、クオリティーも高く、会場は笑いと感動に包まれました。

平和セレモニー

1. 開式の言葉
2. 誓いの言葉
3. 千羽鶴奉納
4. 黙とう
5. 閉式の言葉

「平和への誓いのことば」

私たちは沖縄の平和学習をとおして、「戦争の愚かさ、残酷さ、命の尊さ」を感じました。

また、平和であることは素晴らしいことですが、その平和を創るのも壊すのも人間だ、ということ学びました。

私たちの考える「平和」とは、人と人が手を取り合い尊重し、全ての人が笑顔で明日を迎えられる、ということだと思います。

「平和」を守るために私たちにできることは、毎日笑顔と感謝を忘れずに、一人一人が自分なりの平和像を思い描き協力し合うことです。

これから未来に向けて、日本は二度と戦争をおこしてはいけません。また、世界から戦争をなくさなければいけません。かつて日本でも戦争が行われ、沢山の罪のない人々が亡くなってしまったという事実から目を背けないように後世に語り継ぎ、戦争のない平和な世界を作り、守ります。

2019年6月1日

兵庫県三田市立ゆりのき台中学校 3年生一同

2日目 2日（日）

美ら海水族館→民泊

睡眠は十分。美味しく朝食を頂き、2日目のスタートです。

まずは、美ら海水族館へ向かいました。班行動で、「サンゴの海」、「黒潮の海」、「深

層の海」を巡ります。ジンベエザメ、ナンヨウマンタ…沖縄の海を丸ごと体験しました。

そして、フェリーで伊江島へ。港では民家の皆様が温かい歓迎。入村式では、琉球舞踊を披露していただきました。音楽に乗せられ、生徒も大勢舞台上に上がり、見よう見まねで踊りました。入村式を終え、民泊の始まりです。

午後からは曇り。時々、弱い雨も降りました。ビーチには子どもたちの元気な声が響きます。急な階段を上がり城山山頂へ。残念ながらガスで絶景とはいきませんでした。美味しい郷土料理に舌鼓。伊江島の夜を、沖縄の家族とともに過ごしました。

最終日 3日（月）

民泊→班別行動（那覇国際通り）

民泊では、それぞれの家族で、海水浴、登山、釣り、農業体験、サータアンダギ、ソーキそば、舞踊などなど、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

離村式は豪雨。残念ながら準備していたサンシンの演奏などはできませんでした。それでも伊江港を出航する時には、雨も小降りに。民泊での別れのあいさつは、「さようなら」ではなく「行ってきます」。お世話になった家族の皆様に、涙の「行ってきます」。そして、沖縄の家族からは、「行ってらっしゃい」。本当にありがとうございました。

フェリーとバスで3時間、国際通りに到着。途中立ち寄った「道の駅嘉手納」では米軍基地を垣間見ることができました。

最後は、班別行動に、1 km以上に渡り立ち並ぶ店舗で、飲食とショッピングを満喫しました。

伊丹空港から降車地毎に分かれてバスに乗車。予定より少し遅れましたが、無事に家族が待つ家に帰りました。

「思い出」



大博覧会にふさわしい環境を整えたい。
水の都の心水津、
お母さんお母さん
卒業生も帰国します
私たちは
真面目な女子に
期待を込めて行きます。
お母さん
命もあきらめずのぞいて
ください。
私たちは
一人ひとりの体験を大切に
競争の場を盛り立てます





おわりに

千止万幸 ～Peace of memories～

「千止万幸」一魅力的なスローガンです。このスローガンは、「自分の中の平和の意味を見つける。」「全員が楽しめて、ずっと思い出に残る修学旅行」「絆を深める素敵な修学旅行」「団結力のある笑顔で学べる修学旅行」「学びのある楽しく安全な修学旅行」にしたいという、各クラスから出された意見をもとに、実行委員会によって創り出された、世界に一つだけの言葉です。

今年度の修学旅行は、「学習の場を沖縄に移し、人や自然、文化、歴史にふれる中で、自然の偉大さや平和の大切さを学ぶ。」「集団生活の中で、仲間と協力して行動することを学び、学級や学年としての連帯感を高める。」を目的としました。初日は本島での平和学習、2日目は伊江島での民泊体験、最終日は那覇での班別研修を中心とするプログラムでした。極めてハードなスケジュールでしたが、ガマに入ったり、島の暮らしにふれたり、修学旅行ならではの価値ある体験ができました。

「Peace of memories」一「平和」を胸に、「沖縄」の「歴史」と「自然」そして人の「心」にいっぱいふれ、「同級生」とともに素晴らしい「思い出」を創りだすことができた、素晴らしい3日間となりました。

保護者の皆様には、準備などで大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、修学旅行でお世話になったすべての方々に、心からお礼申し上げます。

ゆりのき台中学校 校長 大野正人



(修学旅行のしおり 挿絵から)